

平成 29 年度 日本小児耳鼻咽喉科学会 第 1 回評議員会 議事録

日時:平成 29 年 6 月 1 日(木) 16 時 50 分~17 時 50 分

場所:二期倶楽部「観季館小ホール」

出席者: 飯野 ゆき子(理事長)、荒川 浩一、伊藤 真人、宇佐美 真一、小川 郁、小林 一女、阪本 浩一、鈴木 雅明、高瀬 真人、武田 憲明、内藤 健晴、増田 佐和子、益田 慎、峯田 周幸、守本 倫子(理事)、氷見 徹夫、松谷 幸子(監事)、市村 恵一、川城 信子(顧問)安達 のどか、足立 雄一、井口 郁雄、今井 文英、井脇 貴子、小河原 昇、奥中 美恵子、香取 幸夫、坂田 英明、鈴鹿 有子、竹内 万彦、田中 康広、千田 いづみ、堤 剛、土井 勝美、長井 今日子、仲野 敦子、西村 洋、二藤 隆春、任 智美、林 達哉、春名 眞一、日高 浩史、兵頭 政光、深美 悟、三輪 高喜、望月 高行、望月 博之、安井 拓也、横山 純吉、吉川 衛、吉田 尚弘、余田 敬子(評議員)、有本 友季子、香山 智佳子、新鍋 晶浩(幹事)
(50音順, 敬称略)

飯野ゆき子理事長挨拶

本学会開催にあたり挨拶が述べられ、出席者および春名眞一会長への謝意が述べられた。

春名眞一会長挨拶

第 12 回日本小児耳鼻咽喉科学会を開催するにあたり協力・支援に対する謝意が述べられた。議事録署名人に兵頭評議員と鈴鹿評議員が指名された。本評議員会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。

協議事項

1. 平成 28 年度第 2 回理事会議事録の確認

平成 29 年 2 月 2 日に行われた平成 28 年度第 2 回理事会の議事録が確認され承認された。

2. 平成 28 年度事業報告(守本理事)

- 1) 第 11 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成 28 年 6 月 30~7 月 1 日の 2 日間、徳島市において徳島大学耳鼻咽喉科武田憲昭会長のもとに開催した。

- 2) 第 12 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成 29 年に獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 春名眞一会長のもとに開催する準備をした。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 37 巻 3 号、および 38 巻 1 号、2 号を刊行した。
- 4) 平成 28 年度第 1 回理事会および評議員会を平成 28 年 6 月 29 日に開催した。第 2 回理事会を平成 29 年 2 月 2 日に開催した。
- 5) 「小児耳鼻咽喉科」作成を進めた。
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会主催の関連する学会会議に出席した。
- 7) 学会事務局移転のための準備を行った。
- 8) 会員名簿作成、見直しを行った。
- 9) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂、小児滲出性中耳炎診療ガイドラインの改訂に委員として協力した。
- 10) 日本小児耳鼻咽喉科学会 会員数 平成 29 年 5 月 17 日現在

名誉会員	2 名
正会員	1168 名(前年度 正会員 1157 名)
団体会員	9 名
購読会員	5 名
寄贈会員	4 名
	1186 名

以上報告され、承認された。

3. 平成 28 年度決算報告(小林理事)

平成 28 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算(平成 28 年 5 月 1～平成 29 年 4 月 30 日)、資産の報告がなされ、承認された。

4. 会計監査報告(氷見監事)

日本小児耳鼻咽喉科学会平成 28 年度決算書類を監査した結果、適正であることが報告され、承認された。

5. 平成 29 年度事業計画(案) (守本理事)

- 1) 第 12 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成 29 年 6 月 2～3 日の 2 日間、獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 春名眞一会長のもとに宇都宮市にて開催する。
- 2) 第 13 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を東海大学小児科 望月博之会長のもと開催に向け準備する。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科会誌 第 38 巻 3 号、および第 39 巻 1 号、2 号を刊行する。
- 4) 理事会および評議員会を平成 29 年 6 月 1 日に開催する。

- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主催の関連する学会会議に出席する。
- 6) 平成 29 年 10 月 1 日からの事務局移転に向け準備する。
- 7) 「小児耳鼻咽喉科」を刊行する。
- 8) 会員名簿情報の収集、把握に努める。
- 9) 小児期外科系関連学会協議会に出席し、日本小児連絡協議会(四者協)の活動に委員として協力する。
- 10) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂、小児滲出性中耳炎診療ガイドラインの改訂に委員として協力する。
- 11) 個人情報保護、COI について学会としての対応を協議する。
- 12) 選挙管理規約、会則改定について審議する。

以上報告され、承認された。

6. 学会事務局移転および平成 29 年度予算(案)(益田理事)(小林理事)

益田理事より学会事務局移転に関して、現在小宮山印刷から中西印刷への移転の準備をしている最中であること、全委託としての初期費用、運営費がかかること、新理事長と中西印刷の間で事務局委託に関する契約を締結後に 10 月 1 日に事務局の移転および 8 月 1 日に一旦休止する年会費および入会費の納入を再開することが報告された。小林理事より平成 29 年度小児耳鼻咽喉科学会予算(平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)が報告され、承認された。

7. 評議員の交代、推薦について(守本理事)

平成 28 年度第 2 回理事会で承認済みの石川 浩太郎(国立リハビリテーション病院 耳鼻咽喉科)、朝子 幹也(関西医科大学 耳鼻咽喉科)の他、廣瀬 正幸(大阪母子医療センター 耳鼻咽喉科)、大津 雅秀(兵庫県立こども病院 耳鼻咽喉科)、梅崎 俊郎(福岡山王病院 耳鼻咽喉科)、柴田 修明(福岡市立こども病院 耳鼻咽喉科)、原 浩貴(川崎医大 耳鼻咽喉科)、工 穰(信州大学 耳鼻咽喉科)、馬場 信太郎(東京都立小児総合医療センター 耳鼻咽喉科)、片岡 祐子(岡山大学 耳鼻咽喉科)、中野 友明(大阪市立総合医療センター 耳鼻咽喉科)(以上、敬称略)を新評議員に推薦することが報告され、承認された。また、幹事に小森 学(慈恵医大第 3 病院 耳鼻咽喉科)(敬称略)が推薦され、承認された。

8. 選挙管理ほかに関わる会則改定について(内藤理事)

会則に関連する事項として、①現在、理事監事とも年齢制限は選出時に 65 歳未満であるが、監事は 70 歳未満とすること、②学術集会および論文の筆頭演者は正会員とすること、臨時会員は筆頭演者にはなれないということを会則に載せる

こと、が提案され、了承された。③理事選挙になった場合の当日不参加評議員の取り扱いと理事の人数若干名を明確にすること、④会員情報収集のためのプライバシーポリシーをどのように公表するか、についても次期理事会に引き継いで検討することが承認された。

報告事項

1. 学術誌編集委員会(鈴木理事)

『ScholarOne Manuscripts』による電子投稿・査読システムが平成 28 年 9 月 1 日より開始され、会誌 37 巻 3 号、38 巻 1 号、2 号を刊行したことが報告された。

2. 国際学術委員会(小川理事)

アジアの小児耳鼻咽喉科の連携を強め、日本の存在感を高めるということで、本学会において韓国と台湾から演者を招きインターナショナルセッションが行われることになった。また、来年の欧州小児耳鼻咽喉科学会(ESPO、ストックホルム)に旧理事、新理事から推薦する予定との報告がなされた。

3. SPIO からの学会助成について(飯野理事長)

今学会から3年間、SPIO より学会長に対して 50 万円の助成が出る事が決定した。これはコストコの資金で賄われることが報告された。

4. 学会、学会誌における利益相反について(阪本理事)

利益相反(COI)について規定している学会が多くなっており、本学会での規定がないことから今後検討していくことが報告された。

5. 小児急性中耳炎診療ガイドライン 2013 年度版の日本耳鼻咽喉科学会による評価について(飯野理事長)

日本耳鼻咽喉科学会でガイドラインの評価が始まる前に小児急性中耳炎診療ガイドラインが作成されたために未だに評価されておらず、日耳鼻の HP よりダウンロードできない。そのため 2013 年度版の小児急性中耳炎診療ガイドラインの評価を日本耳鼻咽喉科学会の学術委員会に申請中であることが報告された。

6. 新理事・監事選挙結果報告(松谷選挙管理委員長)

平成 29 年 4 月 10 日付けで締め切られた理事および監事の立候者が、理事 19 名、監事 2 名といずれも定員内であり、選挙は行わず以下の通り役員が選出されたことが報告された。

理事(五十音順, 敬称略)

- 足立 雄一 (富山大学小児科 教授)
- 今井 丈英 (日本医科大学多摩永山病院小児科 講師)
- 小川 郁 (慶応義塾大学耳鼻咽喉科 教授)
- 香取 幸夫 (東北大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)
- 黒野 祐一 (鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)
- 齋藤 康一郎 (杏林大学耳鼻咽喉科 教授)
- 坂田 英明 (川越耳科学クリニック 院長 耳鼻咽喉科)
- 鈴鹿 有子 (関西医科大学耳鼻咽喉科 特命教授)
- 竹内 万彦 (三重大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)
- 武田 憲昭 (徳島大学耳鼻咽喉科 教授)
- 土井 勝美 (近畿大学耳鼻咽喉科 教授)
- 内藤 健晴 (藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科 教授)
- 仲野 敦子 (千葉県こども病院 診療部長 耳鼻咽喉科)
- 二藤 隆春 (東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師)
- 兵頭 政光 (高知大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)
- 前田 貢作 (兵庫県立こども病院 副病院長 小児外科部長)
- 益田 慎 (県立広島病院小児感覚器科 主任医長)
- 三輪 高喜 (金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)
- 吉川 衛 (東邦大学大橋病院耳鼻咽喉科 教授)

監事(五十音順, 敬称略)

- 後藤友佳子 (甲南病院 診療部長 耳鼻咽喉科)
- 阪上 雅史 (兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授)

7. 「小児耳鼻咽喉科診療指針」改訂版「小児耳鼻咽喉科」の刊行について(飯野理事長)
「小児耳鼻咽喉科」が平成29年6月1日に刊行されたことに対する謝意が述べられた。
8. 第15回総会・学術講演会 会長選出の件(飯野理事長)
第15回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会長に高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科の兵頭政光教授が選出され承認された。
9. 第13回総会・学術講演会 望月博之会長よりご挨拶

第 13 回の日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成 30 年 7 月 12～13 日にワークピア横浜で開催予定であり、挨拶が述べられた。

10. 第 14 回総会・学術講演会について

第 14 回の日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成 31 年 5 月 23～24 日に福岡国際会議場で九州大学耳鼻咽喉科中川尚志会長のもと開催されることが報告された。

11. 第 15 回総会・学術講演会について

第 15 回の日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会長高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科の兵頭政光教授より挨拶が述べられた。

12. その他

飯野理事長より、日本耳鼻咽喉科学会の男女共同参画において、学会の特別プログラムの演者、座長、その他の企画に対してなるべく女性会員を投入することを考えてプログラムを考慮してほしいことが述べられた。また、昨今なるべく奇形という言葉を使わないようにすることが議論にあがっている。『小児耳鼻咽喉科』でもなるべく奇形を使わないように、先天性形態異常など別の表記を使用している。その点も踏まえて今後プログラムを組んでほしいと述べられた。

以上

理事長: 飯野ゆき子
庶務担当: 守本倫子
 阪本浩一
幹事: 有本友季子
 新鍋 晶浩
(文責) 香山智佳子